

前提

○ 社会のニーズや供給実態を踏まえ、総合技術開発プロジェクトで整理が進んでいる単身者向けの基準を対象に検討する。

※ なお、ひとり親等については、事例の蓄積が少ないため今後の課題とする。

視点

○ 住宅全体の面積と専用居室の面積を、両方設定すべきでないか

→ 住宅全体の面積だけでなく、個々の専用居室についても一定の居住水準の確保が必要ではないか

→ また、若年単身者と高齢単身者とでは居住スタイルに違いがあることに配慮が必要ではないか

○ 既存ストックを簡便に活用できるか

→ 既存ストックの現状を踏まえた上で、間取り等について大幅な変更なく活用できることが重要ではないか。